

2023年度全国OWS委員長会議
2024年3月12日

2024 年以降の国民スポーツ大会（OWS） の参加選手の選考について

背景

国民体育大会第3期(2023~2026年)実施計画により、OWS参加選手数が67名に削減される

参考1 ; 国民体育大会第3期 (2023~2026年) 実施計画

競技種目	監督	選手	合計	参加県
O W S	47	67	114	47 県

※参加資格を新たに設け男女とも参加を20県程度、参加資格に満たない県は男女いずれかの参加を認める。

1. 各都道府県水泳連盟（協会）が当該年度競技会において、**出場要件を満たす選手から代表選手として選考し、(公財)日本水泳連盟OWS委員会に予備エントリー**をする。予備エントリー完了後、(公財)日本水泳連盟が各都道府県の予備エントリーを集計し、本大会出場選手を8月7日までに決定し、(公財)日本水泳連盟から各加盟団体へ通知する。

※開催県は出場要件を満たす選手であれば、人数枠男女各1名まで参加できることを担保する。

2. (公財)日本スポーツ協会が定める国民スポーツ大会参加資格の特例措置で「トップアスリート特別枠（前年度日本選手権10km男女各8名）」に選出された選手は、予選会を免除し、出場を担保する（但し、国スポ予備エントリーは行うこと）。

3. 各都道府県水泳連盟(協会)から、男子もしくは女子選手の少なくとも1名は参加できることを担保する。

4. 最大エントリー数は、1都道府県男女各1名までとする。

5. 参加する当該年度の4月1日以降の競技会において、下記参加標準記録を突破または開催前年4月1日以降、公益財団法人日本水泳連盟主催OWS大会、公益財団法人日本水泳連盟認定競技会、国際大会において5km以上の競技に参加し完泳していること。

6. 参加標準記録（長水路）※1/100秒までを対象とする

女子				男子			
成年少年 共通	自由形	800	9:40.00	成年少年 共通	自由形	1500	17:00.00

7. 予備エントリーから参加者を選出する方法は、エントリータイムの早い者から順に男子および女子のそれぞれにポイントを付与し、**男女合計ポイントの高い順に男女両方を参加できる都道府県を選出する。**

なお、20県目のポイントが同じ場合には、男女の合計タイムが早い方を選出する。なお、予備エントリー提出時に、男子と女子の両方の参加が叶わなかったときに、**男子か女子のどちらの参加を選択するか記載しておくこと。**

8. 参加する選手は、2010年4月1日以前に生まれた者とする。

9. 予備エントリー締切日 8月1日

質疑応答

(1)

トップアスリート特別枠本人を都道府県として選出しなくてもいいか。

⇒トップアスリート特別枠本人を選出しなくてもいいが、トップアスリート特別枠外の選手を選出した場合は、トップアスリート担保はなくなる。

(2)

参加選手は、男女同数となるか？

⇒男女同数とはならない可能性がある。男女どちらかが出場可となった都道府県については、各都道府県が選択した選手が選出される

(3)

各都道府県の手続き上、予備エントリーの決定・通知を8/7から早めてもらうことは可能か。

⇒8/5（月）午前までには回答できるようにしたいと考える。

(4)

予備エントリーのエントリータイムは公認大会のみか？

⇒必ず、2024年4月1日以降の公認大会（長水路）における男子1500m自由形、女子800m自由形の公認記録が必要である。

(5)

予備エントリーのエントリータイムは、参加標準記録を突破している必要はあるか？

⇒参加標準記録を突破していなくても、開催前年4月1日以降、公益財団法人日本水泳連盟主催OWS大会、公益財団法人日本水泳連盟認定競技会、国際大会において5km以上の競技に参加し完泳していれば良い。

但し、必ず、2024年4月1日以降の公認大会（長水路）での公認記録が必要である。